

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(63)番 福山市立明王台小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	主体的に学ぶ力	思考力	表現力	他者と関わる力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	生活体験や既習事項を基に、調べたり考えたりするなど、継続して新たな課題を見つけようとしている。	より良い解決に向け、目的や意図に応じて論理的に考えようとしている。	必要な情報を整理し、論理的に話したり書いたりするなどして、自分の考えを表現しようとしている。	初めて出会う考えにも耳を傾け、目標達成に向けて、共感しながら互いに学び合おうとしている。

2 授業の現状

○授業展開の中に考える場面や書く活動を取り入れたことで、理由をつけて発言する児童が増えた。
▲児童が考えをまとめて書くことや、授業で考えを練り合い深めていくための学習内容・発問の工夫が必要である。

転換

3 めざす授業の姿

・主体的な学びとなるよう、板書計画を立て授業の工夫を行っている。【主】
・自分の考えをまとめて書く時間や考えたことを練り合う場面を確保し、手立てが設定されている。【思】【表】
・グループやペア等の活動を通して、他者と関わり合う場面が設定されている。【他】

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> 教材研究による構造的な板書を作成し、発問・指示の精選 根拠をもとにした、考える場面・書く活動の設定 関わり合う場面・表現する場面の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材研究に基づいた板書作成と発問・指示の精選(国語 80.0%, 算数 81.5%) ○考える場面・書く活動の設定(国語 78.3%, 算数 76.5%) ○関わり合う場面・表現する場面の設定(国語 75.3%, 算数 77.8%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○重点単元を中心に ・教材研究ノートの作成とねらいに迫る発問・指示の工夫 ・根拠をもとに、考えたことを条件付けや順序立てて書かせる活動の設定 ・関わり合う場面・表現する場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重点単元を中心にした、教材ノート作成と発問・指示の工夫(国語 82.0%, 算数 84.1%) ○条件付けや順序立てて書く活動の設定(国語 81.0%, 算数 82.5%) ○関わり合う場面、表現する場面の設定(国語 80.0%, 算数 83.5%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○重点単元を中心に、教材研究ノートの作成とねらいに迫る発問・指示の工夫 ○自分の考えを条件付けや順序立てて記述した後、伝える場面を適宜設定する。 ○関わり合う場面、表現する場面でペア・グループ学習を計画的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重点単元を中心にした、教材ノート作成と発問・指示の工夫(国語 88.5%, 算数 90.0%) ○条件付けや順序立てて書く活動の設定(国語 92.0%, 算数 90.0%) ○関わり合う場面、表現する場面でのペア・グループの設定(国語 89.2%, 算数 83.7%)

5 取組の結果等

全国学力・学習状況調査(%) 「基礎・基本」定着状況調査(%) 昨年度

	A問題		B問題		タイプⅠ		タイプⅡ	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
国語	78(+5)	63(+4)	72.5(+1)	51.1(-1.3)	72.5(+1)	51.1(-1.3)	72.5(+1)	51.1(-1.3)
算数	65(-1)	55(+1)	76.1(-1)	73.0(+7.6)	76.1(-1)	73.0(+7.6)	76.1(-1)	73.0(+7.6)
理科	66(+3)		75.1(+4.7)	46.9(-4.1)	75.1(+4.7)	46.9(-4.1)	75.1(+4.7)	46.9(-4.1)

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%) ()は県平均との差

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	51.6	41.9	64.5	32.3	48.4	45.2
学校が楽しい	87.1					

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 31/48	「長座体前屈」において、8/12項目の達成目標において、6/12項目の達成。	○男子「50m走」において、県平均かつ全国平均値を下回る学年が多い。	○体育の準備体操に、走・跳の運動を取り入れる。様々な体勢からのスタートダッシュや、細かいステップを取り入れる。
(女子) 27/48	体力テストAB率を65%以上、ED率を11%以下にする目標において、AB率 57.0%、DE率 12.7%	○女子「20mシャトルラン」において、県平均かつ全国平均値を下回る学年が多い。	○「マラソンがんばりカード」を実施し、児童の意欲を引き出し、持久力を高める。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ○「50m走」を50%以上の学年で、県平均値かつ全国平均値以上にする。 ○「20mシャトルラン」について、男子は9ポイント、女子は7ポイントずつ記録を伸ばす。 ○新体力テストの総合評価のAB率を60%以上、DE率を12%以下にする。(AB-DE)率 48%以上 		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	37.5	37.5
仕事に充実感がある	37.5	25.0

児童生徒アンケート(%) (3)月実施

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	74.6	24.3
自分の考えは、認められている	67.3	29.3